

# 充実した自立活動の指導のできる教員を 育成する長崎県

自立活動の指導は、特別支援学校の教育活動の中で要となるものです。しかし、自立活動は各教科と異なり学習指導要領に目標の系統性や扱う内容の順序性は示されていません。また、教科書もなく、子供一人一人の実態によって指導することが異なることから、指導経験の浅い教員は様々な不安や悩みを抱えながら指導している現状があります。

長崎県では、県教育委員会、県教育センター、各特別支援学校が連携しながら、教員の自立活動の指導に関する専門性向上を支えていくための体制づくりを推進しています。



実態把握は適切かな？

有効な指導内容・方法は？

指導目標は妥当かな？

勉強したいが、何から始めればいいのか？



特別支援教育課マスコット  
とくシカ

## ◆「自立活動の指導に係る力量形成に向けたチェックシート」の開発と活用

自立活動の個別の指導計画のP・D・C・Aサイクルの手続きに沿って、教員が習得する必要がある知識や理解等について習得の程度を自己評価する「自立活動の指導に係る力量形成に向けたチェックシート」（令和元年：福岡教育大学 一木 薫、長崎県教育センター）を活用しています。

### 「自立活動の指導に係る力量形成に向けたチェックシート」

縦軸に示した知識や理解等の習得の程度

横軸

自立活動の個別の指導計画のP・D・C・Aの手続きに沿って


縦軸

自立活動の指導を担う教員が習得する必要がある知識や理解等

チェックシートを活用することで

自立活動の指導で教員として身に付ける必要があることが分かったぞ！

中心課題の設定について、自身の実践をもとに他の先生方に説明できるようになるぞ！



**【県教育センター】**  
自立活動について体系的に学ぶことができる研修の実施

**【各特別支援学校】**  
自立活動の指導に係る力量形成に向けた組織的な取組の推進

## ◆【県教育センター】

# 自立活動について体系的に学ぶことができる研修の実施

障害の種類や程度に関わらず、実態把握から具体的な指導内容の設定までの手順は共通するものです。自己の実践を中心に、経年研修で体系的に学んでいきます。

①実態把握（自立活動の区分に即して整理）

②課題の抽出

③課題同士の関連の整理と中心的な課題の明確化

④指導仮説

⑤指導目標

⑥必要な項目の選定と具体的な指導内容の設定



### 【3年目研】

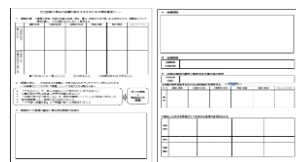
自立活動の評価と指導改善の視点

### 【2年目研】

自身が作成した個別の指導計画の見直し

### 【初任研】

個別の指導計画の作成手順の理解



## ◆【各特別支援学校】

# 自立活動の指導に係る力量形成に向けた組織的な取組の推進

本県では、各特別支援学校で自立活動の指導を推進するリーダーとなる教員を育成する研修を実施しています。そして、各校では、リーダーの教員を中心としながら、自立活動の指導に係る力量形成に向けた組織的な取組を推進しています。

例えば・・・

### 【目標設定会や評価会の実施】

複数の教員で指導目標を検討したり、評価を共有したりする機会を設ける。



### 【校内研修会の実施】

教員のニーズやチェックシートの分析結果に応じた研修を実施する。



### 【外部専門家の活用】

理学療法士や臨床心理士などの専門家の助言を、指導改善に生かす。



長崎県は、全ての教員が自信をもって、指導のやりがいや面白さを感じながら、自立活動の指導を行うことができるよう、県全体で取り組んでいます。

